

# 社会科（地理的分野）学習指導案

令和5年12月 日 校時

## 1. 単元名 北アメリカ州

## 2. 単元設定の理由

### ①教材観

本単元は、平成29年度版中学校学習指導要領解説社会編地理的分野2内容(1)「世界のさまざまな地域(ウ)」の項目を受け、北アメリカの多様性と移民問題を指導内容として構成したものである。北アメリカ州ではロッキー山脈や五大湖などの豊かな自然環境の中で、工業や農業が盛んに行われている。アメリカ合衆国では、広大な国土に、各地の気候に合わせた適地適作の農業を行い、穀物メジャーなどアグリビジネス企業が大規模かつ効率的に生産を行っていることから「世界の食糧庫」として、国際市場に大きな影響を与えている。また、自動車工業や航空宇宙産業やICT関連産業など、先端技術産業に力を注ぐとともに、多国籍企業の進出やシェールオイル・ガスなどの新しい資源の開発など、鉱工業でも世界をリードしている。そして長らくGDP世界一(IMF:2020)として世界を牽引する大国の経済の発展を支えてきたのは、移民の存在であった。「サラダボウル」「人種のるつぼ」と呼ばれてきた移民大国であるアメリカは、移民により形作られてきた国であると言える。しかしこれまで、その移民への対応をめぐり、規制や政策を行ってきた歴史もある。

アメリカ合衆国の経済発展とそれに関する移民問題を取り上げて、北アメリカ州の地域の特色をとらえた上で、移民政策をどのようにしていくべきかの価値判断を行う。北アメリカに住むさまざまな立場の人に触れて、移民政策をどのように進めていくか、メリット・デメリットを整理、価値付けることで社会的判断力が育成されると考える。

### ②生徒観

本学級の生徒は、活発で明るい生徒が多い。雰囲気も温かく、大きなトラブルもなく、仲良く過ごしている。社会科や総合的な学習の時間の班学習では活発に自分の意見が言えて議論が盛り上がることが多い。しかしながら、社会科に苦手意識を持った生徒も少なからずいる。一方、社会科が得意な生徒の獲得している知識も、教科書等にある記述的な知識レベルに偏っており、自分の考えや思いを発表することはできるが、根拠を明らかにして自分の考えを表現することができない。そのため客観性や説得力に課題がある。このことをふまえて、社会科の学習では、根拠を明らかにして自分の考えを論理的に表現させる活動に取り組んでいきたい。そこで、社会的な見方や考え方を育成させて、思考・判断させるような発問を授業毎に提示し、グループやペアで話し合い活動を取り入れることで、他の生徒の考えに触れながら、知識の質を高め、自分の考えを表現できる力を身に付けさせる必要があると考える。

### ③指導観

単元を通して、授業の中で生徒に考えさせるような発問や表現を心がけるとともに、本時では、自分の意見に加えて他者の意見をふまえて価値判断させる授業を設定する。自分の考えをより論理的に表現させるために、トゥールミンモデルに沿って、根拠として、さまざまな立場から複数の資料を提示し、比較させて事象を多面的・多角的にとらえさせたい。また

グループの活動を通して、他の生徒の意見に触れる機会を確保し、班で考えをまとめながら、自分の意見を構築する経験を積ませたい。本単元で価値判断させる授業を通して、将来有権者となる生徒たちに必要である国家・社会の形成者として必要な公民的資質を養わせたい。

### 3. 単元（題材）の目標

(1) 北アメリカ州の自然環境や産業、文化について概観し、それぞれの基本的な知識を身につけている。また、北アメリカ州に関する統計資料や雨温図、写真の比較をおこない、地理的スキルを身につけている。【知識及び技能】

(2) 北アメリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と地球的課題を多面的・多角的に考察し、その成果を様々な方法で表現している。

【思考力、判断力、表現力等】

(3) 北アメリカ州の地域的特色について設定した学習課題に基づいて、主体的に追究しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

### 4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
北アメリカ州の国々は移民により形づくられ、経済発展を遂げてきたが、同時に移民問題をめぐり問題が起こっていることを理解する。 アメリカ合衆国成立の歴史、アメリカ合衆国の産業の発展、移民政策の移り変わりや問題などに関する様々な資料から有用な情報を適切に選択して読み取ったりまとめたりして自分の意見の根拠にしている。	アメリカ合衆国成立の歴史、アメリカ合衆国の産業の発展、移民政策の移り変わりや問題などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果から自分の意見を適切に表現している。	アメリカ合衆国の産業と移民政策に関する学習を通して、北アメリカ州の地域的特色を意欲的に捉えようとする。

### 5. 単元計画

第1次 北アメリカ州の自然環境・・・1時間

第2次 移民の歴史と多様な民族構成・・・1時間

第3次 大規模な農業と多様な農作物・・・1時間

第4次 世界をリードする工業・・・1時間

第5次 アメリカ合衆国に見る生産と消費の問題・・・1時間

第6次 アメリカ合衆国のこれから・・・1時間

## 6. 本時の指導

### (1) 本時の目標

アメリカ合衆国の移民問題について、根拠にもとづき、多角的に事象をとらえて自分の意見を形成することができる。

### (2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価と方法
1 前時に自分がまとめた意見を振り返り、座標に名前を貼る。	○ 発表の仕方を確認する。	
あなたはアメリカの移民政策について、今後どのように進めていくべきだと考えますか？		
2 班で意見交換する。	○ 他の班員の意見をよく聞き、メモをとるようにさせる。	アメリカ合衆国の移民問題について、根拠にもとづき、多角的にとらえて自分の意見を形成することができるか。 (ワークシート) <b>【思考・判断・表現】</b>
3 追加資料を提示して、意見を再構築する。	○ 他の班員の意見や新たな資料から読み取った内容をふまえて自分の考えを形成するように指導する。必ずしも意見は変える必要がないことも伝える。	
4 黒板の座標に掲示した、名前カードを貼る。	○ 最終的な自分の考えが、座標のどこにあてはまるのかを考えさせる。	
5 自分の意見を発表する。	○ 自分の意見に加えて、座標の位置についても触れ、その理由も答えさせる。	

### (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断できる状況	・資料や話し合いから意見形成に必要な情報を選択し、価値を含む根拠を示すことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 (手立て)	・記入例を示したツールミンモデルを用いて、考えを整理させる。 ・班活動を活発にするため、発表の仕方を示す。